

THE UKI NEWSLETTER

熊本地震からの確かな復興を目指して 災害公営住宅の今



入居支援

7月1日、災害公営住宅に入居する世帯に生活用具支援券25万円分の交付を開始(左写真)。入居者の自立支援を目的に県内で初めて実施しています。

対象は現在災害公営住宅に入居している世帯と、これから入居する世帯(建設予定の住宅への入居を含む)です。
◎ 都市整備課 ☎32-1694

災害公営住宅データ

- ・全181戸(98戸完成済)
- ・市内10カ所に建設
(6カ所完成済)
- 費用負担内訳**
ひびきはら (響原復興住宅の例)
- 総工費 6.5億円
- うち国庫補助額 4.8億円
- 市の負担額(25%) 1.7億円

災害公営住宅を知る

平成28年4月に発生した熊本地震では多くの人たちが住む家を失いました。応急仮設住宅やみなし仮設住宅で暮らす被災者などに、恒久的な住まいを提供することを目的に建てられるのが、災害公営住宅(復興住宅)です。

県全体の整備予定戸数は12市町村で1717戸(平成31年1月末現在)です。整備費用のうち、およそ4分の3は国からの補助で賄うことができ、市町村の負担は4分の1程度となります。

宇城市では10カ所181戸の建設を予定し、98戸がすでに完成しました。来春の全戸完成を目指し、建設を進めています。

TOPICS

行政相談委員で感謝状

5月、行政に関する相談を受け助言などを行う行政相談委員を務めた前田保行さん(左)、野田知宏さんに感謝状が贈呈されました。



コクヨと連携協定締結

6月3日、コクヨ(株)(大阪府大阪市)と連携協定を締結。イオンモール宇城市に移転する小川支所の、働き方改革に向けたオフィス設計や子育て支援・防災対策を意識した空間デザインを行います。



笑顔集まれ「みんなの家」

3月に完成した豊野町の災害公営住宅「響原復興住宅」にある集会場「みんなの家」の表札を、豊野中3年の坂田小桜さんが揮毫しました。小学3年から書道を続ける坂田さんは現在八段の腕前。「和紙に墨で書く普段の書道とは少し違うので不安もありましたが、先生の指導を受け、自信を持って書けました」と笑顔を見せました。



令和元年7月21日執行 第25回参議院議員 通常選挙投票結果

当日有権者数	49,591人
・男性	23,234人
・女性	26,357人
投票率	47.03%

九州電力と連携協定締結

6月19日、九州電力(株)送配電力センター宇城配電事業所と防災に関する協定を締結。災害発生時に相互が連携・協力しライフラインの早期復旧を図り、道路状況を情報共有することなどが目的です。



小学生が熊本空港を見学

6月29日、日本航空(JAL)との連携協定の一環として、小学生を対象とした空見学会を実施。10組21人が参加しました。JALの協力により、飛行機の近くで「空のお仕事」を見学できるなど、充実した内容となりました。



宇城市ふるさと納税
← 詳しくはこちら

読者プレゼント 4品をそれぞれ1人に
ふるさと納税の人気返礼品を贈ります

◎ 企画課 ☎32-1902

提供 肥後あゆみの会
天苺農場



有機栽培の完熟トマトを使用した無塩無添加の有機トマトジュースと塩焔トマトジュースのセット。
500ml×3本

提供 肥後あゆみの会
天苺工房



有機栽培で育てたミカン果皮ごと絞ったジュース。豊かな香りとミカン本来の甘さが楽しめます。
500ml×2本

提供 松合食品



安全・安心・おいしさを追求した醤油セット。丸大豆仕込みの芳醇な香りとふくよかな旨味が魅力。
900ml×3本

提供 九州電子



電子部品の「ものづくり技術」を駆使して温度と湿度を調節。心を込めて発酵・熟成させました。
L玉×6個

応募方法 はがきかFAX(32-2222)で応募 ①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤「ウキカラ」の感想を記入 〒869-0592(住所不要)宇城市企画部企画課「ふるさと納税プレゼント」係 **締切** 8月23日(金)(はがきは消印有効) 発表は発送をもってかえます。